

Mizuho Daily Market Report

2023/2/14

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	132.12	132.42	+1.06	▲0.24
EUR	1.0684	1.0723	+0.0045	▲0.0003
AUD	0.6929	0.6966	+0.0049	+0.0083
SGD	1.3308	1.3287	▲0.0016	+0.0009
CNY	6.8240	6.8183	+0.0038	+0.0219
MYR	4.3578	4.3622	+0.0280	+0.1035
THB	33.81	33.89	+0.10	+0.22
IDR	15204	15195	+61	+140
PHP	54.75	54.78	+0.35	+0.38
INR	82.67	82.73	+0.22	▲0.01

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.702%	▲3.0 bp	+6.2 bp
日本(10年)	0.511%	+0.9 bp	+0.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.368%	+0.4 bp	+7.2 bp
オーストラリア(5年)	3.554%	+5.0 bp	+34.8 bp
シンガポール(5年)	2.984%	+4.8 bp	+14.5 bp
中国(5年)	2.678%	▲0.8 bp	▲0.8 bp
マレーシア(5年)	3.614%	+4.7 bp	+16.5 bp
タイ(5年)	2.117%	+2.6 bp	+5.0 bp
インドネシア(5年)	6.401%	+4.0 bp	+4.8 bp
フィリピン(5年)	5.972%	+5.4 bp	+16.6 bp
インド(5年)	7.292%	+0.8 bp	+12.1 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,245.93	+1.1%	+1.0%
N225(日本)	27,427.32	▲0.9%	▲1.0%
STOXX50(ユーロ圏)	4,241.36	+1.0%	+0.9%
ASX(オーストラリア)	4,345.77	+0.8%	+1.0%
FTSTI(シンガポール)	3,324.70	▲1.1%	▲1.8%
SSEC(中国)	3,284.16	+0.7%	+1.4%
KLSE(マレーシア)	1,475.17	+0.0%	▲1.0%
SETI(タイ)	1,664.89	+0.0%	▲1.0%
JKSE(インドネシア)	6,900.140	+0.3%	+0.4%
PSE(フィリピン)	6,838.76	▲0.6%	▲1.4%
SENSEX(インド)	60,431.84	▲0.4%	▲0.1%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	272.79	+0.0%	+2.5%
金	1,853.49	▲0.6%	▲0.7%
原油(WTI)	80.14	+0.5%	+8.1%
銅	8,828.76	+0.0%	▲0.1%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	131.00	—	132.70
EUR/USD	1.0640	—	1.0800
AUD/USD	0.6870	—	0.7040
USD/SGD	1.3230	—	1.3350
USD/CNY	6.7950	—	6.8480
USD/MYR	4.3330	—	4.3890
USD/THB	33.65	—	34.05
USD/IDR	15100	—	15250
USD/PHP	54.50	—	55.10
USD/INR	82.30	—	83.20

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (2)	<	Bear (4)
USD/SGD	Bull (2)	<	Bear (4)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は131円台半ばでオープン。序盤から日米金利差の拡大を意識したドル買いを背景にドル円は底堅く推移。その後しばらく131円台後半でのみ合いが続いたが、再びドル買いが強まり132円台まで上昇。132円台前半で海外時間に渡った。アジア通貨は全般的に下落する展開。翌日に米1月CPIの発表を控えインフレ動向に対する警戒感が残る中ドル買い優勢の展開となった。

海外市場のドル円は先週の日銀総裁人事に関する報道を受けて不透明感が後退したためか、円売り優勢の流れとなり、先週9日(高値131.83)や10日(高値131.90)に上抜けできなかった132円を難なく突破。その後も円売りの流れは止まらず、一時132円台後半まで上昇後、132円台半ばでNYオープン。朝方は米長期金利の上昇がサポートとなり、ドル円は上昇を再開。その後、米金利が低下に転じるも、今度はクロス円の上昇につれ高となり、132円台後半まで上昇。しかし、翌日に米1月CPIを控える中、節目であり、一目均衡表雲下限となる133円ちょうどの手前では失速し、買いは一服。NY時間午後は持ち高調整の売りが中心の動きとなり、終盤には132円台前半まで下落後、結局、132円台半ばでクロースした。

【金利】

週明けの金利市場は前週終値比小幅低下。長期の債券買いが強く、イールドカーブはややフラット化。主要指標発表がなく材料難の中、米国の経済の底堅さが意識された売りや、FED要人発言からの利上げ継続示唆を受けた売りなどで金利は上昇する局面もあったが、その後は翌日に市場注目の1月CPI(消費者物価指数)の発表を控え買い戻しが見られた。

【予想】

本日のドル円相場は海外時間に米1月CPIの発表を控え方向感に欠ける推移を予想。先日発表された米1月雇用統計の結果に続いて物価上昇圧力の高止まりが示唆される内容となれば追加利上げ期待が高まる材料となり得るが、今後の利上げプロセスについては強い不透明感が残る中では結果を見極めるまでは積極的な動きは控えられるはず。強い注目が集まっているだけに指標発表後は結果に応じて上下双方向に相応の値幅を伴った動きが出る可能性に警戒したい。

【本日の予定】

(日本) 12月 鉱工業生産(確) / 設備稼働率
(日本) 4Q GDP(速)
(アジア) 12月 フィリピン 海外労働者送金
(アジア) 1月 インド 卸売物価
(アジア) 1月 豪 NAB企業信頼感 / NAB企業景況感
(アジア) 2月 豪 ウェストバンク消費者信頼感指数
(アジア) シンガポール 2023年度政府予算案発表
(アジア) シンガポール 財政収支
(欧州) 12月 英 雇用統計
(欧州) 1月 英 失業率 / 失業保険申請件数推移
(欧州) 4Q ユーロ圏 GDP(速) / 雇用(速)
(欧州) EU財務相理事会(ブリュッセル)
(米国) 1月 CPI
(米国) 1月 NFIB中小企業楽観指数
(米国) 1月 実質平均時給 / 実質平均週賃金
(米国) ウィリアムズ・NY連銀総裁講演
(米国) ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁講演
(米国) ローガン・ダラス連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。